

2026年度 学部生への会計研究科開設科目一部開放について
**【対象学部】政治経済学部、法学部、文化構想学部、文学部、教育学部、
 商学部、基幹理工学部、創造理工学部、先進理工学部、
 人間科学部、スポーツ科学部、国際教養学部**

学部生（4年生以上）に会計研究科開設科目の一部が開放され履修可能となります。
 詳細について、下記内容を確認してください。

1. 2026年度春学期の会計研究科開放科目・履修に必要な前提知識

会計研究科開放科目名 (○内の数字はクラス)	単位	学期	担当教員	実施方法 (注1)	曜日 時限	算入 区分	履修に必要な前提知識	
財務会計リテラシー (1)	1	春 ク ター	金子 良太 川村 義則	OD	—	自由 科目 扱い (注2)	基礎的な会計学で学ぶ程度の知識（日商簿記3級程度）があることを前提とします。	
財務会計リテラシー (2)	1	夏 ク ター	金子 良太 川村 義則	OD	—			
プロフェッションと倫理 (1)	1	春 ク ター	林 敬子	対面	水 1			
プロフェッションと倫理 (2)	1	夏 ク ター	林 敬子	対面	水 1			
基礎簿記 (1)	2	春学期	松尾 圭祐	対面	木 1			
基礎管理会計	2	春 ク ター	目時 壮浩	OD	—			
基礎原価計算 (1)	2	春学期	清水 孝	対面	火 2			
監査基礎 (1)	2	春学期	林 敬子	対面	火 1			
簿記Ⅰ (1)	2	春 ク ター	加藤 大吾	対面	土 1-2			
簿記Ⅱ (1)	2	春学期	川村 義則	OD	—			
財務会計 A (1)	2	春 ク ター	茂木 哲也	対面	月 1-2			
財務会計 B (1)	2	夏 ク ター	金子 良太	対面	木 4-5			
管理会計Ⅰ (1)	2	夏 ク ター	目時 壮浩	OD	—			
原価計算 A (1)	2	春 ク ター	清水 孝	対面	金 3-4			
原価計算 B (1)	2	夏 ク ター	清水 孝	対面	金 3-4			
監査 A (1)	2	春 ク ター	持永 勇一	対面	金 1-2			
監査 B (1)	2	夏 ク ター	持永 勇一	対面	金 1-2			
グローバル・アカウンティング	1	夏 ク ター	川村 義則 清水 孝 目時 壮浩 持永 勇一	OD	—			
租税法 (1)	2	春学期	本田 光宏	対面	木 3			
法人税法 A	2	春学期	鈴木 友康	対面	月 3			
金融機関のガバナンス・リスク管理・コンプライアンス	1	夏 ク ター	EY 新日本有限 責任監査法人	対面	水 4			
グローバル企業へのタックスコンサルティング	1	春 ク ター	EY 税理士法人	対面	水 4			
次世代マーケティングと顧客体験の変革入門	2	春学期	合同会社デロイト トーマツ	対面	木 2			
								公認会計士試験の各科目を学ぶのに必要な程度の知識（日商簿記2級程度の知識）があることを前提とします。
								日商簿記1級程度の知識、または公認会計士短答式試験に合格するレベルの知識があることを前提とします。

プロフェッショナルのためのマクロ経済学	2	春学期	清水 弘幸	OD	—	自由科目扱い (注2)	各学部において設置されている基礎的な経済学の科目で学ぶ程度の基礎知識があることを前提とします。
アクチュアリーのプロフェッショナルリズム	1	春学期	大塚 忠義 田中 浩一 中村 吉男	対面	月 4		各学部において設置されている基礎的な数学（確率論・統計学）の科目で学ぶ程度の基礎知識があることを前提とします。
数理統計基礎	2	春学期	大塚 忠義	対面	火 3		アクチュアリー試験の各科目を学ぶのに必要な程度の数学（確率論・統計学）に関する知識があることを前提とします。
ビジネス数学の基礎	2	春学期	豊泉 洋	対面	月 2		
データサイエンスⅠ	2	春学期	野村 俊一	OD	—		
生命保険の理論と実務	2	春学期	大塚 忠義	対面	水 2		
企業年金の基礎	1	春学期	飯塚 裕 金 海永 日比野 渉	対面	月 5		
アクチュアリー生保数理	2	春学期	越後谷 齊一 浜田 淳一 若杉 英樹	対面	水 5		
アクチュアリー損保数理	2	夏学期	岡 柊耶 貝本 悠 小林 哲 富山 智史	対面	金 4-5		
アクチュアリー年金数理	2	春学期	荒井 昭 関口 健太郎 藤澤 陽介	対面	月 6		
アクチュアリー確率	1	春学期	野村 俊一	対面	木 2		
アクチュアリー統計	1	夏学期	野村 俊一	対面	木 2		

(注1) 「対面」…対面授業、「OD」…オンデマンド配信授業（科目によっては教場試験を実施することがあります）

(注2) 「自由科目」…卒業必要単位数および登録制限単位数に算入されない科目

2. 登録方法

登録期間…4月7日（火）9：00～4月8日（水）16：00まで

上記期間中に①Web登録と②学部での成績を証明する書類の提出の両方を必ず行ってください。

①②の両方が完了した方のみ申請が認められますのでご注意ください！

①Web登録

- 各科目の学部生定員は **10名程度**です。希望者多数の場合、成績等により選抜することがあります。

②学部での成績を証明する書類（成績証明書、成績照会画面のコピー等）の提出

- 成績証明書または成績照会画面のコピーを電子データにて以下の申請フォームより提出してください。（MyWaseda にログインして申請してください）

<https://my.waseda.jp/application/detail/application-detail?communityContentLinkId=677983571>

3. 結果発表

- 4月11日（土）9：00～ Web科目登録画面にて発表

4. その他

- 学部科目との曜日時限重複を起こさないよう、十分注意して登録を行ってください。
- (1)、(2) が後につく科目は、同じ科目の別クラスとなります。したがって、1科目しか登録できません。一方、科目名の後に続くⅠ・ⅡやA・Bはその科目のレベルや内容を表しています（別科目となります）。したがって、科目名は同じであっても、Ⅰ・ⅡやA・Bについては両方を科目登録することができます。また、Ⅰを修得しないとⅡは登録できないということはありません。
- 会計研究科開放科目の修得単位は、会計研究科へ進学した場合、会計研究科の『**修了必要単位**』として申請が可能です。
- 会計研究科の「学内5年一貫修了制度入試」（7月および10月実施）に合格し入学した場合、学部4年生以上での在学時に先取科目20単位以上を修得し、かつ、会計研究科入学後に修得した単位とあわせて60単位以上を修得することにより、会計研究科を1年で修了することができます。

5. 参考（2026年度秋学期の会計研究科開放科目・履修に必要な前提知識（予定））

会計研究科開放科目名 (○内の数字はクラス)	単位	学期	担当教員	実施方法 (注1)	曜日 時限	算入 区分	履修に必要な前提知識
財務会計リテラシー (3)	1	秋クォーター	金子 良太 川村 義則	OD	—	自由 科目 扱い (注2)	基礎的な会計学で学ぶ程度の知識（日商簿記3級程度）があることを前提とします。
プロフェッションと倫理 (3)	1	秋クォーター	林 敬子	対面	月 1		
基礎簿記 (2)	2	秋学期	松尾 圭祐	対面	木 4		
基礎原価計算 (2)	2	秋学期	長谷川 恵一	対面	月 3		
監査基礎 (2)	2	秋学期	林 敬子	OD/対面	金 2		
簿記Ⅰ (2)	2	秋クォーター	加藤 大吾	対面	土 1-2		
簿記Ⅱ (2)	2	秋クォーター	川村 義則	対面	月 2-3		
財務会計 A (2)	2	秋クォーター	茂木 哲也	対面	月 4-5		
財務会計 B (2)	2	秋学期	金子 良太	対面	木 3		
管理会計Ⅰ (2)	2	秋クォーター	目時 壮浩	OD	—		
管理会計Ⅱ	2	秋クォーター	目時 壮浩	OD	—		
原価計算 A (2)	2	秋クォーター	清水 孝	OD	—		
原価計算 B (2)	2	冬クォーター	清水 孝	OD	—		
監査 A (2)	2	秋クォーター	持永 勇一	対面	木 1-2		
監査 B (2)	2	冬クォーター	持永 勇一	対面	木 1-2		
租税法 (2)	2	秋学期	本田 光宏	対面	木 4		
法人税法 B	2	秋学期	鈴木 友康	対面	木 3		
ESG・サステナビリティ開示入門	1	冬クォーター	Forvis Mazars Japan 有限責任 監査法人	対面	火 5		日商簿記 1 級程度の知識、または公認会計士短答式試験に合格するレベルの知識があることを前提とします。
事業再生と再生型 M&A	2	秋学期	株式会社 KPMG FAS	対面	水 2		
IPO 実務	2	秋学期	太陽有限責任 監査法人	対面	水 3		
AI と監査の未来	1	秋クォーター	稲垣 直明 外賀 友明 塚本 雄一郎	対面	火 3-4 (隔週)		
プロフェSSIONALのためのミクロ経済学	2	秋学期	大塚 忠義	対面	火 2		
ビジネスアナリティクスの基礎	2	秋学期	豊泉 洋	対面	月 2		
AI 概論	1	秋クォーター	野村 俊一 藤澤 陽介	対面	金 2		
データサイエンスⅡ	2	秋学期	野村 俊一	OD/対面	金 3		
損害保険の理論と実務	2	秋学期	青木 拓郎 塩島 薫 星野 明雄 堀田 周平	対面	木 5		
						各学部において設置されている基礎的な経済学の科目で学ぶ程度の基礎知識があることを前提とします。	
						各学部において設置されている基礎的な数学（確率論・統計学）の科目で学ぶ程度の基礎知識があることを前提とします。	
						アクチュアリー試験の各科目を学ぶのに必要な程度の数学（確率論・統計学）に関する知識があることを前提とします。	

(注1) 「対面」…対面授業、「OD」…オンデマンド配信授業

「OD/対面」…OD10回/対面4回、OD4回/対面10回など

オンライン授業であっても、科目によっては教場試験を実施することがあります。

(注2) 「自由科目」…卒業必要単位数および登録制限単位数に算入されない科目